

Vol.46 学校教育に関する意識調査 (2)

2007年の kanko ホームルーム Vol.15 で、母親の学校教育に関する意識調査について紹介しました。今回は、小学生から高校生のお子様のお保護者の方を対象に、現在の学校教育現場に対する満足度や期待することなど調べました。

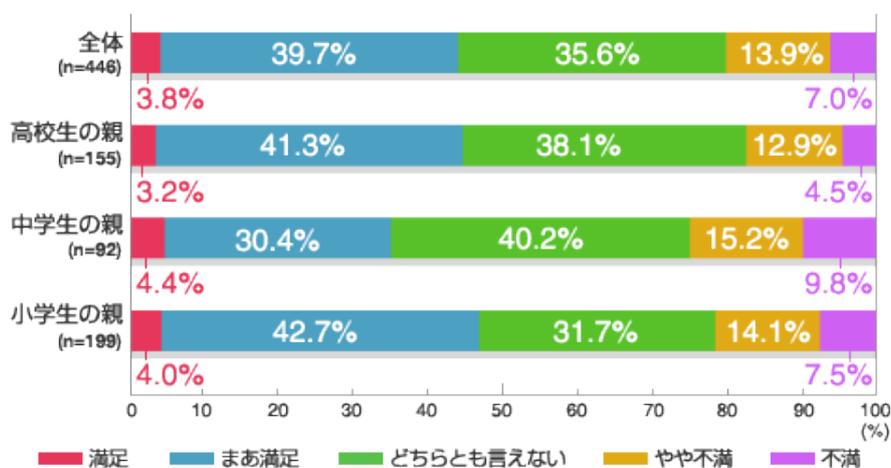
調査概要

調査対象：全国の小中高校生のいずれかの
子どもを持つ親 446人
調査方法：インターネットリサーチ
実施時期：2009年8月



Q 学校教育には満足していますか？

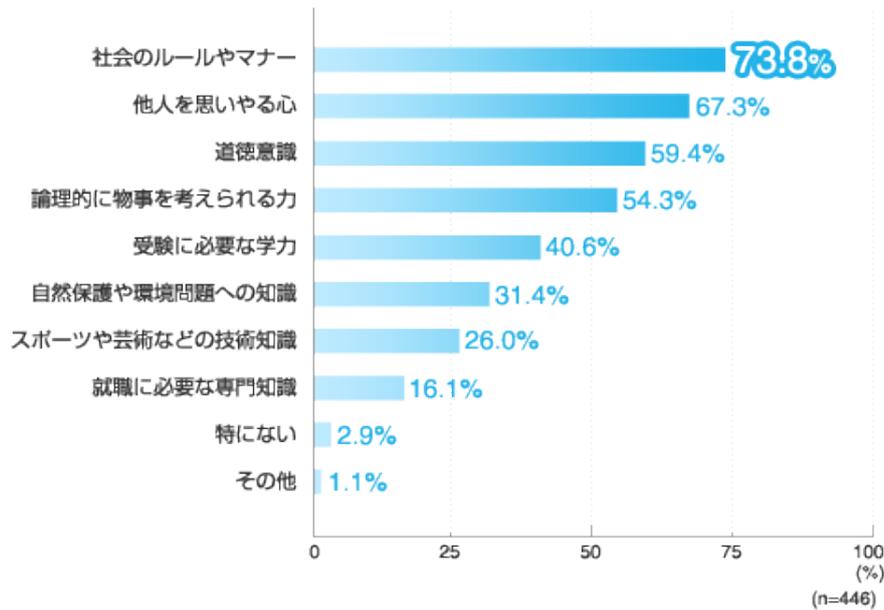
学校教育への満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせた回答が全体で43.5%と、「不満」と「やや不満」を合わせた回答の20.9%と比較して、小中高校生の子どもを持つ親の満足度は高いようでした。学校別では、「満足」と「まあ満足」を合わせた回答は、高校生の親44.5%、中学生の親34.8%、小学生の親46.7%と、小学生の満足度が最も高く、中学生の親の満足度が全体平均より低いという結果になりました。



【図1】学校教育への満足度(単数回答)

Q 学校で教えてほしいことは何ですか？

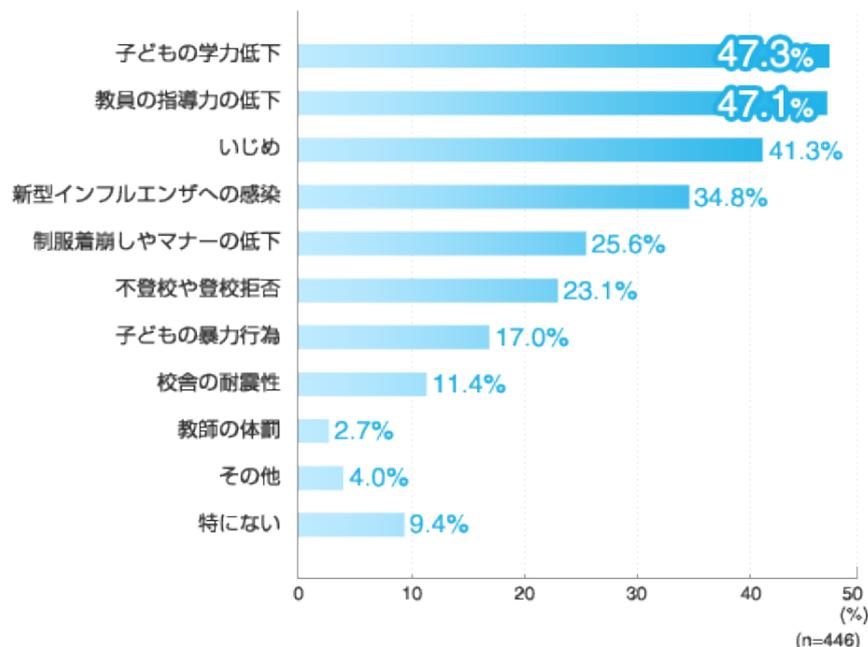
子どもに学校で教えてほしいことは、「社会のルールやマナー」、「他人を思いやる心」、「道徳意識」、「論理的に物事を考えられる力」という回答が半数を超えました。中でも「社会のルールやマナー」を教えてほしいという回答は73.8%と最も多くなりました。



【図2】学校で教えてほしいこと（複数回答）

Q 学校教育現場で問題に感じていることは何ですか？

親が学校教育現場に対して問題と感じていることは、「子どもの学力低下」が47.3%、「教員の指導力の低下」が47.1%と多く、次いで「いじめ」が41.3%という結果になりました。また、前回の調査時にはなかった項目で、世界的に流行している「新型インフルエンザへの感染」や、地震時の備えとして「校舎の耐震性」などが今年に入り挙げられています。



【図3】学校教育現場で問題に感じていること（複数回答）

 **まとめ**

小中高校生の子どもを持つ親の学校教育への満足度は、「満足」「まあ満足」を合わせると全体で43.5%と半数近くが満足しているという結果となりました。この結果は、前回(2007年)中高生の子どもを持つ母親の調査時の43.2%とほぼ同じでした。また、学校で教えてほしいことは、社会のルールやマナー、他人を思いやる心といった道德性の育成が上位に挙げられましたが、学校教育現場の問題としては、子どもの学力の低下と教師の指導力の低下という学習的な部分が注目されています。更には、新型インフルエンザや校舎の耐震性など、子どもの安全への意識が今年になり高まっています。保護者が学校に求めることは、「学力面」「道德面」「安全面」など多岐に渡り、学校教育現場への期待は非常に大きいようです。

毎月最終
火曜日
更新

kanko ホームルーム ~学生を読み解くデータ集~

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

検索<http://ozaki.jp/homeroom/>